奥尻空港～神威脇温泉までの区間運行における外部委託の概要

（経緯）

奥尻町は、令和７年４月に『奥尻町地域公共交通計画』を策定し、今後５年間の公共交通政策の基本方針を示しているところです。

町ではこの計画に基づき、実行計画となる利便増進計画の策定に向け準備中で、この計画では『定時定路線型デマンド運行』の導入による現行路線バスの再編・見直しを計画しています。

また、路線バス運行の効率化を図るため、移動ニーズや対象人口の少ない『奥尻空港～神威脇温泉』の区間における外部委託の導入について検討しており、この区間を外部委託する際は『委託料』の設定が重要で、現行の運行経費より圧縮でき、且つ持続可能な仕組み（将来の車両更新等の費用も含む）を構築できるような価格設定にしたいと考えています。

このため、委託料算出にあたって現行の維持管理経費を超えないことが条件の一つとしていますが、関係法令の遵守や当該業務の方針を十分理解され、利用者目線で誠意をもって対応される方であれば経験や実績等を問わず広く募集したいと考え、以下のとおり現在の情報や想定必要経費等についてお知らせします。

（利用率が低い区間）

○『奥尻空港～神威脇温泉』までの区間のバス利用者の実態

地域住民の利用ニーズ	地域にお住いの高齢者	：	2～3 名
	地域にお住いの児童・生徒	：	2～3 名
神威脇温泉利用者	地域にお住まい以外の方	：	0～5 名/日
観光等で来訪された島外のバス利用者		：	1～3 名

直近の神威脇地区で乗降されたバス利用実績一覧

		R7/7 月	R7/8 月	R7/9 月	備考
神威脇地区（割引運賃・スクール便利用者）	大人（100 円）	18 名	4 名	23 名	片道の利用者人数でカウント
	小人（無 償）	30 名	0 名	32 名	
神威脇地区（通常運賃）	大人（200 円）	55 名	40 名	32 名	
	小人（100 円）	10 名		2 名	
運賃収入		13,800 円	8,400 円	8,900 円	
1 日あたりの利用者		2.52 人	1.42 人	1.90 人	
1 日あたりの運賃収入		445.2 円	271.0 円	296.7 円	

※1 日 4 便運行のため、1 便あたりの利用者数等は 1/4 となります。

上記の状況に加え過去の運行実績も考慮すると、運行車両は 10 人乗以下の車両でも十分対応可能で車両のダウンサイズによる運行経費の圧縮と町有バス運行の負担軽減効果、機動力向上による安全性の確保や運転手負担の軽減効果が期待されます。

また、町有バス運行の負担軽減で生ずる余力を活かし、現在の路線バス運行における空白の時間帯『フェリーターミナル～奥尻空港 11:10 発（仮）』での増便について検討することで利用者のニーズ（病院帰りの青苗地区住民のニーズや空港利用者への対応）に応え、バス運行に係る利便性の向上を推進したいと考えます。

（業務委託の条件）
１．以下条件を満たさない場合は受託事業者とはなれませんのでご留意下さい。
（１）路線運行を担う従事者は公務員に準じた行動や責任を伴うことを留意する。
（２）原則、町有バスの運行日に合わせ日程に空白なく運行する。
（町有バスは 12/31～1/2 の 3 日間は休業のため同様（予定）とする。）
（３）運賃収入は実績に基づき毎月若しくは 4 半期毎に全額町に納入する。
（４）毎月運行実績の報告を行う。（バス運行日報に準じた項目）※詳細は別に定める。
（５）法令を遵守し不測の事態が生じた際は速やかに担当部署へ報告・指示を仰ぐ。
（６）不正や不備があった場合は、当該契約を解除する場合があることを十分理解し、誠心誠意をもって対応する。

（運行見直しの長所）
１．デマンド運行導入のメリット
・デマンド運行の導入は自宅前や指定場所で乗降できるため、きめ細かなサービス展開による利便性の向上が期待される。（想定では乗車の際はバス路線から、降車の際は自宅前や目的地付近での降車を想定している。）

２．ダウンサイジングによるメリット
・当該区間の運行実績からは、1 回のバス利用者は多くて１～２名程度であるため、ダウンサイジング車両（定員４～10 名）での運行が合理的であり、燃料費や定期点検等の維持管理コストの削減に繋がる。また、車両の小型化による運行時の機動性や視認性が向上により安心・安全運行が期待できる。

３．その他のメリット
・民間事業者の効率的な経営ノウハウやサービス水準の向上が期待できる。
・新規雇用の確保に繋がり、町内の交通事業の体制強化が期待できる。
・交通事業体制が強化されることで、潜在的な交通ニーズや移動に困っている方々への体制強化が図られる。

（運行見直しに伴う短所）
１．乗換えに伴うデメリット
・乗換えが必要となるケースがあるため利用者にとって大きなデメリットとなる。
・運賃定額制を適用した際、仮に神威脇→国保病院まで行った際は乗換のため 2 度の運賃支払いが生じる。　→　同経路に限り乗り継ぎの場合の減免制度の導入について検討する。
・奥尻空港を起点とした場合のバス運行ダイヤの乗り継ぎ接続の観点から、上りと下りどちらかが接続しない時間帯での運行設定をしなければならなくなる。
現在の想定では、午前中は上り便に接続し午後からは下り便に接続するダイヤを想定する。

２．その他
・路線乗換えの運用は、町内で初めての試みとなるため想定外事案への対応についての体制を整える必要がある。

（委託料の算出）
委託料の算出について詳しい内容は担当部署（バス運行係）へご相談下さい。